学校番号	312

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　標準「言語文化」　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学時よりも難度の高い文章(小説・古典)を読んで正しい日本語に触れ、古典を含む文学的文章や韻文を読んで日本の言語文化に触れていきます。感想や意見を書くことを求める機会もあります。主体的に考える力、表現力を磨きますので、「自ら」文章を読む姿勢が求められます。
・辞書での語句調べ、漢字の小テストを頻繁に行うなど、基礎的な語彙力の向上をめざします。宿題として課す場合もありますので、家庭学習の習慣もつけていきましょう。
・日常的に、調べる癖、考える癖をつけていき、できることから一つずつ取り組んでいきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	小説という文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などを的確にとらえる。 [教材]とんかつ（三浦哲郎） 文学のしるべ	a:常用漢字を文や文章の中で活用する。 b[　書　]:謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 c:叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 ポートフォリオ 話し合い ノート提出
	歴史的仮名遣いや文語のきまりを理解し、古典の文章に慣れる。 [教材]児のそら寝 古文を読むために１	a:主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 b[　読　]:古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 c:時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出
	歴史的仮名遣いや文語のきまりに慣れるとともに、文章の内容にも親しみを深める。 [教材]なよ竹のかぐや姫	a:主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。 b[　読　]:現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。 c:積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出
	古文における人物造形のおもしろさを読み味わい、古文の世界への親しみを深める。 [教材]絵仏師良秀 古文を読むために３	a:主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。 b[　読　]:説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 c:積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出

2	自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ［教材］枕草子 〔歴史の窓〕	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 b［ 話／聞 ］：作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c：作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出
	登場人物の行動や心理をもとに場面の転換をとらえ、論理展開を読み解く。 ［教材］羅生門（芥川龍之介） 文学のしるべ	a：常用漢字を文や文章の中で活用する。 b［ 書 ］：下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 c：老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出
	折句を理解し、創作活動に応用することを学ぶ。 ［教材］〔言語活動〕 折句を用いて短歌を作る	a：我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 b［ 書 ］：折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 c：進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。	短歌の提出	発問評価 発表	授業態度
	話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ［教材］伊勢物語 東下り 古文を読むために４ 〔歴史の窓〕	a：主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 b［ 話／聞 ］：「東下り」では課題に応じて調査する。 c：歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	調査とまとめ 課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出
3	「東下り」で学習した歌物語の特徴と読み解きを深める。	a：「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 b［ 読 ］：話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解	課題の提出 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出

	［教材］伊勢物語 筒井筒 古文を読むために４ 〔歴史の窓〕	き方を理解する。 c：古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解しようとしている。			
	文章の種類をふまえて内容や展開を的確にとらえるとともに、作品の歴史的・文化的背景を理解する。	a：「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 b［ 話／聞 ］：・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 c：本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	調査とまとめ 課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出
	［教材］徒然草 〔歴史の窓〕				
	訓読の基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。	a：訓読のきまりを理解する。 b［ 書 ］：・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 c：これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	指名音読 課題の提出 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度
	［教材］訓読に親しむ 漢文を読むために				
	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	a：故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 c：故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	指名音読 課題の提出 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノート提出
	［教材］矛盾				

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［b］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間